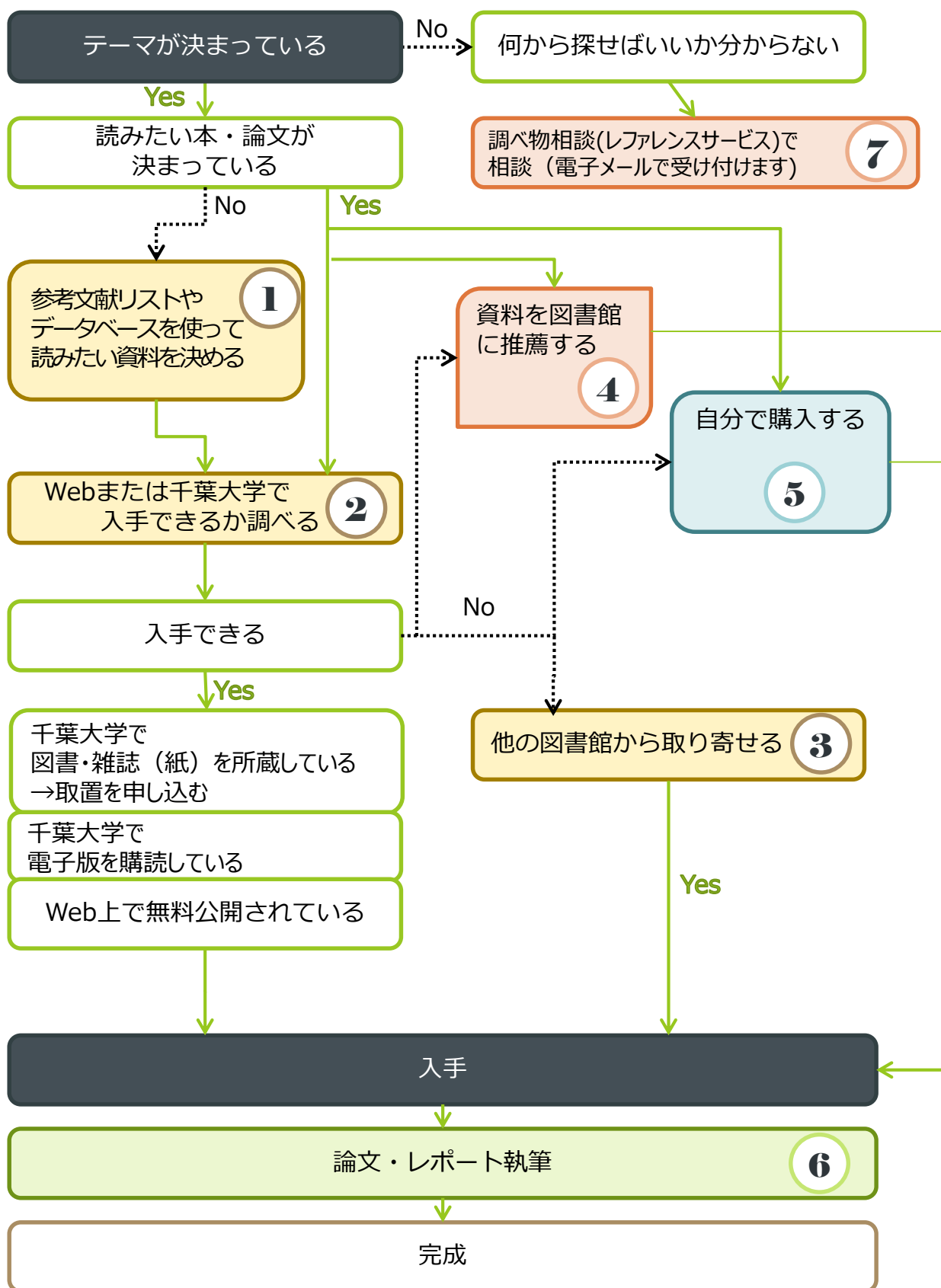


文献を探して入手する方法



1 参考文献リストやデータベースを使って読みたい資料を決める

◆ 参考文献リスト

図書や論文には多くの場合、関連するテーマの参考文献リストが載っています。その中から良さそうな文献を選びましょう。選んだあとは、②や⑤のWebサイトで入手できるか探してみましよう。

◆ シラバス、授業資料ナビゲータ

本学のシラバスや授業資料ナビゲータで、講義に使われる教科書や参考文献が紹介されています。こちらも、②や⑤のWebサイトで入手できるか探してみましよう。

◆ データベース

- CiNii Books **Free** 提供：国立情報学研究所(NII)
全国の大学図書館を含む国内所蔵の資料を検索できます。
- CiNii Articles **Free 統合認証 @千葉大** 提供：国立情報学研究所(NII)
日本で発行された論文を検索できるデータベース。検索は学内外どこからでも利用可能です。一部の論文は本文ファイルへのリンクがあります。
- Web of Science **統合認証 @千葉大** 提供：Clarivate Analytics
海外の論文を検索できるデータベース。全分野を網羅しており、引用文献情報も収録しています。インパクトファクター（Journal Citation Reports）へのリンクがあります。
- EBSCOhost **統合認証 @千葉大** 提供：EBSCO
海外の論文情報や電子ブックを収録したデータベース。
心理学、医学・看護学、言語学など、各種の専門分野に特化したデータベースも含んでいます。
- Google Scholar **Free @千葉大** 提供：Google
分野や出版国を問わずに広く収集しているデータベース。収集対象が明らかでないため、検索漏れは分からない。学内のネットワークから検索すると、@千葉大アイコンが表示されます。

その他の千葉大学で利用できるデータベースについては、図書館Webサイトの「[電子資料を探す](#)」ページをご覧ください。

2 Webまたは千葉大学で入手できるか調べる

- 千葉大学附属図書館蔵書検索 (OPAC) **Free**
千葉大学で所蔵している図書、雑誌、DVDなどの資料が置いてある場所や状態と、千葉大学で利用できる電子ブックを調べることができます。

※当面の間、図書・雑誌の利用は事前申込が必要となります。メール本文に必要事項を記載し受取希望館の連絡先にお送りください。申込方法等の詳細は図書館HPをご確認ください。

【利用を申し込む際のチェックポイント】

図書：書名、配架場所、請求記号、登録番号

雑誌：雑誌名、巻号等、配架場所、請求記号、登録番号

- 電子ジャーナルAtoZ **Free**
千葉大学で利用できる電子ジャーナルの一覧です。OPACの「電子ジャーナルAtoZ」タブからも検索できます。検索のキーワードに雑誌名・ISSNは使えますが、論文のタイトルや著者名を使うことはできません。
- IRDB **Free** 提供：国立情報学研究所(NII)
日本の学術機関リポジトリに蓄積された学術論文、学位論文、研究報告書等を横断的に検索できます。CiNii Articlesで本文を見られない場合でも、IRDB経由で機関リポジトリから本文を入手することができます。




「統合認証」について

学内限定の電子ジャーナルやデータベースの多くは、自宅や出先など大学外から統合情報センター発行のアカウント（情報環境基盤システムアカウントの「利用者番号」と「パスワード」・教育用端末ログインと同じ）を使って利用できます。

詳細は図書館Webサイト「[電子ジャーナル等データベースの学外からの利用](#)」をご覧ください。



「@千葉大」について

千葉大学でデータベースを検索すると「@千葉大 」アイコンが表示されることがあります。「@千葉大」をクリックすると表示される画面は、電子版の論文や千葉大学にある雑誌、文献複写の申込みへリンクしています。論文の本文をWebで見られるかどうか、わざわざ電子ジャーナルAtoZを調べなくても分かる便利な機能です。

3

他の図書館から取り寄せる

◆ 他の図書館から取り寄せる

残念ながら欲しい文献が千葉大学にないときも、他の図書館から資料を取り寄せることができます。取り寄せには、現物貸借（図書を借りる）と文献複写（論文のコピーを送ってもらう）のサービスがあります。いずれも概ね1週間程度で資料が届きます。なお、利用にあたっては郵送料と複写料をご負担いただきます。文献複写・現物貸借はWeb上のMyLibraryで申し込みできます

4

資料を図書館に推薦する

千葉大学の学生・教職員の方は、附属図書館に置くべき資料を推薦することができます。申込方法および推薦要領は図書館Webサイト内「[学習資料の推薦](#)」（学内限定）をご覧ください。

■ 学生購入希望図書

学習や研究に必要な資料、全学的に有益であり図書館に備えるべき資料（図書・雑誌・視聴覚資料等）を、学生個人から推薦できます。図書館にない資料であることが前提です。

Kindle（Amazon）、Apple Books（Apple）やKinoppy（紀伊國屋書店）等の個人向けの電子書籍は購入できませんが、Maruzen eBook Library、メディカルオンライン、ProQuest等の機関向けの電子書籍は推薦の対象となります。

5

自分で購入する

◆紙の本を買う

- 千葉大学生協ブックセンター 提供：千葉大学生協
ネットからの注文も可能で、組合員であれば割引価格で購入できます。
- 日本の古本屋 提供：全国古書籍商組合連合会
古書の検索サイト。全国古書籍商組合連合会の加盟店約2200軒の在庫が検索、発注ができます。会員登録をすれば、探している「気になる本」の登録も可能。
- AbeBooks 提供：Amazon.com
世界中の古書の検索サイト。全世界の古書店から書籍を購入できます。古書の状態についても詳細に記述してあります。

◆電子の本を買う

- Kindle 提供：Amazon.com
世界最大のECサイトAmazon.comが提供する電子書籍サービス。
- Apple Books 提供：Apple
Appleが提供する電子書籍サービス。
- Kinoppy 提供：紀伊國屋書店
紀伊國屋書店が提供する電子書籍サービス。

6

論文・レポート執筆（文献管理ツール）

- EndNote basic Free（ユーザ登録のみ学内限定） 提供：Clarivate Analytics
Webベースの文献情報管理ツールです。電子ジャーナルや書誌データベースから収集した文献情報の管理や、レポート・論文を作成するときに必要な参考文献リストの作成を行うことができます。学外からでも登録できますが、学内から登録すれば、利用できる機能が増えますので、初期登録は必ず学内から行ってください。

※他にも無料で利用できる文献管理ソフトは多数あります。例：Mendeley, Zoteroなど。

7

調べ物相談(レファレンスサービス)（電子メールで受け付けます）

図書館で開設している学習支援デスクの一つで、図書館員が資料や文献探しのお手伝いをするサービスです。「文献の探し方がわからない」など、資料や文献について、わからないことや困ったことがあれば相談してください。テーマがあいまいでも結構です。

E-mail: alc-ref@chiba-u.jp （回答にお時間をいただく場合があります。）